一人ひとりの思いをカタチに
食農立国
JAいわて中央

ほっぷ
すてっぷ

じゃJAんぷ

Anniversary
創刊300号
記念号

2024
2
Vol.300

特集

一人ひとりの思いを広報誌に（カタチ）
ほっぷすてっぷ
JAんぷ300号

JAいわて中央

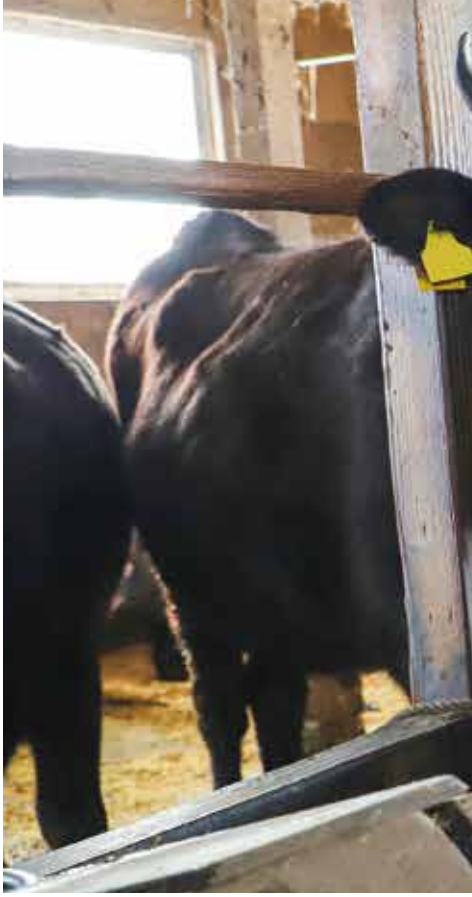
―"食農立国JAいわて中央"を支える生産者の想いをつなぐコーナー―

祖父から孫へつなぐ牛飼い

牛と向き合い 次代を担う若手生産者

今年で就農4年目を迎える水本湧さんは、矢巾町煙山の牛舎で母牛14頭と子牛10頭を飼養している。県内の大学を卒業後、地元を離れて会社勤めをしていた湧さんは、畜産業を営む祖父母から「牛飼いをやってみないか」と声を掛けられたことをきっかけに帰郷し、就農した。湧さんは「声を掛けられるまで継ぐことを考えたことはありませんでした。すべては当時のタイミングだったと思います」と振り返る。「ゼロからのスタートだったので、技術や知識は祖父をはじめ、周囲に教わりな

1.「子牛を高く売りたい」と意気込む湧さんは「コロナ禍で低迷した需要が早く回復してほしい」と期待を込める
2.昨年7月に開催されたJAいわて中央畜産共進会に出品した湧さんは未経産牛の部・第1区で金賞一席、経産牛の部・第4区で銀賞一席の好成績を収めた
3.給餌の際は、トウモロコシやぬかなどを混ぜ合わせた濃厚飼料を与える前に、牧草や稲WCSなどの粗飼料（写真）を与え、牛が消化不良を起こさないよう心掛けていると話す湧さん。牧草や稲WCSは自家栽培している
4.冬場は牛の寝床にわらをたっぷりと敷き、子牛が体調を崩さないように細心の注意を払う



がら覚えてきました」と話す湧さん。特に、就農当時からつながりのある地域の生産者の存在は心強かったという。

現在、湧さんは自宅から祖父母の家に通う「通い農業」で、餌やりや牛舎の掃除、夏場は畦畔の草刈りや牧草の管理などもこなしている。「牛飼いは毎日休まず管理をしなければいけないのが大変ですね」と話す湧さん。さらに、牛にはそれぞれ個性があり、体格も性格も様々。一頭一頭にあわせた飼養管理も、根気強さが求められる仕事だ。

また、肉用牛を育てる農家は、母牛を育て子牛を生産・出荷する「繁殖」と、子牛を購入し、肥育して肉として出荷する「肥育」に分けられる。湧さんをはじめとする繁殖農家の最大の仕事は、母牛に1年に1頭の子牛を産ませ、健康で良質な牛を育てること。さらに、生産効率を上げるためには、母牛の空胎期間（お腹に子牛がいない期間）をできる限り短縮し「1年1産」を実現することが理想であり、目標とされている。そのためには、発情の兆候を見逃さず種付けをすることや分娩事故による死産を防ぐことが欠かせない。湧さんは「発情のタイミングを全て見極めるのは難しいので、出産から40日後を目安に獣医さんに相談するようにしている。また、初産牛は子牛が生まれてくるまで細かく見るようにしています」と話す。

高値取引願って子牛を大きく健康に

「子牛が大きく成長したときは嬉しいです」とやりがいを話す湧さん。理想とする大きな牛に育てるためには、生育ステージにあわせた栄養管理が重要だ。湧さんは、生後2～3週間頃の子牛には餌を手やりして、一頭ずつ「食べる」習慣を身につけさせているという。「とはいえ、他の農家の皆さんにはまだまだ追いついていません」と笑う湧さんは「子牛を高く売ること」を目標に、今後の更なる技術向上を目指している。

4

今月の表紙

水本 湧（みずもと ゆう）さん (30)

矢巾町煙山で繁殖牛を飼養する専業農家。
趣味はゲーム、サウナ

目次 CONTENTS

未来へつなぐ食農立国 …… 2
水本 湧さん（矢巾町）

特集 …… 4
一人ひとりの思いを広報誌（カタチ）に
ほっぷすてっぷJAんぷ 300号

NewsFile …… 8
「ちゃぐりん」の工作を作ってみよう！
冬休み親子工作教室　他

営農情報 …… 10
JAいわてグループ農政フォーラムを開催 他

Deliciousいわて vol.11 …… 12

サン・フレッシュ都南さ おでってくなんせ！
まちのスマイル …… 13

インフォメーション …… 14
無料開放で好評実施中！
健康たいかん館 他

今月のレシピ …… 16
カキのみそ焼き

特集

一人ひとりの思いを広報誌に（カタチ）

ほっぷすてっぷJA（じゃ）んぷ300号

平成11年3月に創刊したJAいわて中央広報誌「ほっぷすてっぷJAんぷ」は、今月で300号を迎えました。「ほっぷすてっぷJAんぷ」は、農業や地域にまつわる身近な話題を通して皆さまに愛される広報誌を目指し、これからもお届けしてまいります。今月の特集では、広報誌のあゆみや皆さまからいただいた声などをご紹介します。

JAの出来事と共に振り返る！「ほっぷすてっぷJAんぷ」ヒストリー

1999年（平成11年）

3月号

平成11年3月1日にJA岩手しわ町・JAやはば・JA都南の3JAが合併し、「JAいわて中央」が誕生。創刊号「いわてちゅうおう」を発行しました。

2007年（平成19年）

4月号

広報誌の名前を公募し、多数の応募の中から「ほっぷすてっぷJAんぷ」に決定。

由　来

「この素晴らしい自然環境の中、子どもからお年寄りまで夢に向かって、一歩ずつJA（じゃ）んぷしてほしいと願いを込めました」（応募者メッセージ）

2010年（平成22年）

6月号　創刊100号

平成19年5月1日にJA盛岡市と合併し、新生「JAいわて中央」としてスタート。6月号では新体制の情報を掲載しました。

7月号

管内で生産される農畜産物のブランド化を目指した「食農立国」を発足。7月号では6月に行われた発足式の内容を掲載しました。

300号発行によせて

代表理事組合長
浅沼 清一

日頃よりJA事業につきまして、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、JAの広報誌「ほっぷすてっぷJAんぷ」がお陰様で300号を発行することができました。顧みますと、平成11年3月の広域JA合併以来、組合員や地域住民の皆さまに農業・JAを取り巻く情報を提供し続けてまいりました。広報誌の役割は、必要な情報をタイムリーかつ分かりやすく伝えることが重要であると思っております。特にも4支所体制になった今、JA運営をはじめ農業や地域の情報を発信し、JAをより身近に感じてもらえるよう広報活動を強化してまいりますので、今後ともご愛読下さいますようお願い申し上げます。

2024年（令和6年）

2月号

創刊300号

2021年（令和3年）

2月

平成29年度（第31回）JA広報大賞「組合員向け広報誌の部」で、「ほっぷすてっぷJAんぷ」が優秀賞を受賞しました。

2019年（平成31年・令和元年）

2月

令和2年度（第34回）JA広報大賞で、全国2位となる準大賞を受賞。コロナ禍のため表彰式はオンラインで行われ、記念の盾を受領しました。

2018年（平成30年）

4月号

JAいわて中央創立20周年。4月号では記念のロゴマークが表紙を飾り、特集では3月に行われた創立記念式典の様子を掲載しました。

2015年（平成27年）

8月号

全ページフルカラーにリニューアル。9月号からは、生産者にスポットを当てた連載企画「みんなでつくる食農立国」（現在も「未来へつなぐ食農立国」として掲載）をスタートし、表紙にも生産者や生産組織が出演しています。

2014年（平成26年）

10月号

創刊200号

「食農立国」発足5周年×200号記念企画を特集。

あの人、この人は今

過去に出演いただいた皆さんや初代広報担当者にインタビューしました。

盛岡市・手代森

藤村 和輝さん（27）

2003年
7月号に出演
（当時7歳）

2年前に就農し、現在は祖父母・両親とともにリンゴやブルーベリーを栽培しています。リンゴ栽培は冬の剪定作業に始まり季節ごとの管理を経て収穫期を迎えますが、今行っている作業がどのような意味を持つのかを意識して全体を把握しながら進めることを心掛けています。今後は農作業の省力化や販売の強化にも取り組み、生産者さんとのつながりで知識の幅も広げながら、栽培技術を高めていきたいです。お客さんからの「おいしい」という声を励みに、農業を続けていくことが今の夢です。

矢巾町・広宮沢

栃内 元衛さん（74）

2005年
9月号に出演
（当時56歳）

19年前、県畜産共進会黒毛和種の部に出品した「はらたか」号が1等に入賞し、第5回東日本和牛能力共進会には県代表として出場しました。当時、皆で畜産を盛り上げようと取り組み、それがとても良い経験になりました。現在も妻とともに繁殖牛2頭とその子牛を飼養しています。飼料・資材の価格高騰など経営環境は年々厳しさも感じますが、体の続く限り牛飼いを続けたいです。また、今は古銭収集や軍事郵便の研究などが日頃の楽しみです。「趣味は人生を2倍楽しくする」と思うので、これからも農業や趣味を通じた出会いを大切にしていきたいです。

紫波町・佐比内

菅原 優さん（64）

創刊号
（1999年）から
74号（2005年）の
編集を担当

創刊時、当時の組合長に「小学生でも読める広報誌を作りなさい」と言われたことが印象に残っています。私が担当していた頃はフィルムカメラの時代だったので、現像するまで写真の仕上がりが分からず苦労しましたが、季節に合わせた内容や写真で見せる読みやすい誌面づくりを心掛けました。広報という仕事を通じて、人とのつながりが増え、地域のことをよく知ることができたと感じています。JAにはこれからも身近な話題で皆さんに親しみやすい広報誌を作っていってほしいと思います。

盛岡支所金融課

野坂 郁静さん（23）

2008年
5月号に出演
（当時7歳）

取材時（当時7歳）の記憶はほとんどありませんが、記事を読み返し、とても懐かしい気持ちになりました。こうして今、JAに勤めていることにあらためてご縁を感じています。私は6年前に入組し、これまでは金融の渉外担当や窓口業務を経験してきました。現在、コロナ禍でマスクを着用して接客をさせていただいていますが、笑顔で対応することを心掛け、お客さまとのコミュニケーションを大切にしています。今後は今まで以上に親しみやすく頼りになるJA職員を目指していきたいと思っています。

私と ほっぷすてっぷ 300号記念企画 じゃJAんぷ

皆さまからお寄せいただいた「ほっぷすてっぷJAんぷ」にまつわるエピソードをご紹介します。
たくさんのご応募、ありがとうございました！

スターでもアイドルでもないのに、表紙を飾る皆さんはいつも輝いています。そんな写真を見るのが大好きです。ご高齢の方も青年も、お父さんもお母さんも。そして、その方たちが取り組んでいらっしゃる農業や酪農の記事を読みます。だからおいしい物を買いにサンフレッシュ都南へ。そして店舗に置かれている「ほっぷすてっぷJAんぷ」を必ず頂いてきます。これからも広報誌作り頑張ってくださいね。

津志田・C／71歳

JAんぷの表紙に知人でお世話になっている方が載っておりました。遂に農業後継者として表紙を飾ったのね！と自分の弟のようにホッコリしました。そういえば！うちの長男と長女が小学生の時に掲載していただいたなぁ～と思い出し…。そういえば自分も小学生の時に掲載していただいたなぁ～と。時代は受け継がれていくものなのか！いや、そうあるべきではないかと古き良き時代のような香りを感じた一時に感謝するJAんぷです。

ニックネーム　ガッツ

今年岩手に住む母が亡くなりました。四十九日を終え、遺品を整理しているとキッチンから分厚いノートが。見れば『今月のレシピ』を切り抜いたスクラップブックでした。思えば私が嫁いだ後も「こんなレシピがあるよ」とちょくちょく連絡をくれました。まさか、5月に食べた洋風タケノコご飯が最後になるなんて。このスクラップブックは亡くなった母の置き土産。これからは私がこの味を受け継いでいこうと思います。

所沢市・K／39歳

2012年2月号にラ・フランス温泉館で開かれた紫波冬まつりに、JA女性部水分支部とボランティアで作った陶器の「夢灯り」が表紙に記載されびっくりしたのが思い出されます。当時水分女性部の支部長をしていましたので、皆さんの協力で凍てつく寒さの中、手作りした灯篭を並べました。震災復興の想いを込めた「絆」の字を描き、沿岸の方向を見て黙祷したことが思い出されます。今年も新年早々能登地震があり、箱の中に閉まっておいた「夢灯り」をそっと出し、黙祷しました。

宮手・M／73歳

ずっとじゃんぷではなく、ジェイエーんぷと読み間違っていまして、気づかないまま母親にもジェイエーんぷ来たよーって教えてました。ある日じゃの小さな文字を見ながら、じゃんぷ？あっJA（じゃ）んぷなんだ。これを聞いた娘に大笑いされてしまいました。ちゃんと表紙を見てなかった自分が恥ずかしく思いました。

上飯岡・N／58歳

広報誌はパソコンやスマホからもチェックできます！

広報誌へのご意見・ご感想 随時募集中！

JAいわて中央では、広報誌に関する皆さんのご意見やご感想を募集しています。お寄せいただいた意見は、広報誌「ほっぷすてっぷJAんぷ」の今後の企画や編集等に活かしてまいります。

提出方法

はがき・FAX・メールなどで、ご提出・送付ください。

〒028-3453　紫波町土舘字沖田98-20
JAいわて中央企画管理部企画課 宛
ＦＡＸ　019-673-7636
メール　kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

JAいわて中央のホームページでは最新号から過去2年の広報誌を公開しています。

こちらから

JAいわて中央 広報誌

NEWS FILE

「ちゃぐりん」の工作を作ってみよう！
冬休み親子工作教室

News File
ダイジェストを公開中！

協力して工作に挑戦しました

JA紫波地域女性部は1月6日、冬休み親子工作教室を紫波支所で開き、管内の小学生とその保護者ら14人が参加しました。

参加者は、家の光協会が発行する雑誌「ちゃぐりん」に掲載された記事を活用し、女性部員指導のもと牛乳パックを使った「おうちの小物入れ」と飛び出す仕掛けが特徴の「ムクムクボックス」を協力して完成させました。参加した保護者は「親子で工作をする良い機会になって良かった」と笑顔を見せました。

矢巾支所が最優秀賞！
令和5年度 支所だよりコンクール

受賞を喜ぶ編集担当者ら

JAは12月、令和5年度支所だよりコンクールの審査会を開き、矢巾支所の支所だより「やはBUZZ（バズ）！」が最優秀賞に選ばれました。

同コンクールは、組合員や地域住民とのコミュニケーション作りに活用された支所だよりを奨励し、今後の制作意欲増進を図ることを目的に開催しています。矢巾支所の編集担当者は「今後も地域の身近な話題を分かりやすくお伝えしたい」と抱負を話しています。その他の受賞は次のとおりです。

▶優秀賞 都南支所 ▶優良賞 紫波支所・盛岡支所

呼吸合わせ、音色響かせて
JA矢巾地域女性部 ハーモニカ教室

タイミングを合わせて練習する部員ら

JA矢巾地域女性部は1月17日、ハーモニカ教室を矢巾地域営農センターで開き、部員6人が参加しました。同教室は、部員の声をもとに一昨年から開催しているもので、同部が取り組むレディースセミナーの一環として月に2回開いています。

ハーモニカ講師である紫波町日詰の伊藤昇太郎さん指導のもと、この日は「野ばら」などの曲を練習し、参加者は「ハーモニカは奥深い楽器で面白い。音をきれいに出せるよう、さらに練習したい」と笑顔を見せました。

SDGsへの取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。

SDGs

良品質安定生産目指す

12 つくる責任 つかう責任

剪定技術磨く リンゴ剪定講習会

剪定方法を確認しました

JAは1月23日、リンゴの剪定講習会を管内2会場で開き、良品質なリンゴ生産に向けた剪定方法や適切な樹形に整えるポイントを学びました。

紫波町古館の園地で行った講習会には紫波地域・矢巾地域の生産者ら約50人が参加。JAりんご部会紫波支部の水本一宏支部長の実演をもとに、参加者同士で意見を交わしながら、今後の作業性や着果を想定した剪定方法について確認しました。

管内のリンゴの剪定作業は1月から本格化しており、3月下旬頃まで続きます。

子供たちの健やかな成長願って

12 つくる責任 つかう責任

煙山保育園で鏡開き

佐々木支部長と昼食を味わう園児ら

矢巾町とJAは1月11日、煙山保育園で鏡開き昼食会を開きました。昨年末にJAもち米生産部会矢巾支部が町に寄贈した餅を使った「もち入り巾着」を昼食に味わい、一年の無病息災を願いました。

同園年長組の23人や高橋昌造矢巾町長、浅沼清一組合長、菅原弘範常務、同支部の佐々木隆則支部長らが参加。佐々木支部長は「餅やご飯、野菜やお肉などをたくさん食べて大きく羽ばたいてほしい。生産者も安全安心な食材を届けていきたい」と話し、浅沼組合長は「健康で幸せいっぱいの一年を過ごしてほしい」と呼び掛けました。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

華麗な手仕事ずらり展示

JA紫波地域女性部手づくり生活展

作品を鑑賞する来場者ら

JA紫波地域女性部は1月18日、19日の2日間、「手づくり生活展」を紫波支所で開きました。会場には、部員らが制作した手工芸品386点の展示の他、「おゆずりセール」や休憩コーナーが設けられ、来場者で賑わいました。

同地域女性部の鎌田都美子部長は「作品展示はもちろん、たくさんの品物を持ち寄っていただいた『おゆずりセール』はSDGsの一環にもなり、皆さんに楽しんでいただくことができました。また、休憩コーナーも交流の場となり、大変好評で嬉しく思います」と振り返りました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も

営農

JAいわてグループ 農政フォーラムを開催

JAいわてグループは1月16日、盛岡市内で「JAいわてグループ農政フォーラム」を開き、県内JAの組合員や役職員ら約600人が参加しました。同フォーラムは持続可能な農業・農村の実現に向けた力強い農政活動を展開するため、JAいわてグループの意思結集を図ることを目的に開催しています。

▶「今日の学びを持ち帰り、それぞれの地域へ発信していただきたい」とあいさつする伊藤会長

◀講演する二宮氏

開会にあたり、JA岩手県中央会の伊藤清孝会長は「JAいわてグループの農政活動では、国会議員をはじめ、岩手県知事や岩手県議会議員など、多くの方に本県農業の実状を伝え、強く要請している」と話し、「引き続き、組合員の皆さまの声が形になるよう、要請活動を続けてまいりたい」とあいさつしました。

同フォーラムでは、日本農業新聞の田宮和史郎常務が「基本法改定の焦点～農業・農政をめぐる情勢～」と題し、情勢報告。基調講演では、スポーツジャーナリストの二宮清純氏が講師を務め、「スポーツにみるリーダーシップと地域振興」と題して、プロ野球の事例からみるリーダー論や地域振興の秘訣などを解説しました。

また、フォーラムの最後には「足元の厳しい状況を乗り越え、持続可能な農業の実現を通じた食料安全保障の強化が図られるよう、組織の総力を挙げて全力を尽くす」ことなどを盛り込んだ宣言が、満場一致で採択されました。

▶県農協青年組織協議会の五日市達洋会長（JA新いわて）がフォーラム宣言を読み上げました

子牛市場情報（令和6年1月19日・中央家畜市場）

地区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫波	11	577,000	238,000	381,909	283	-35,813
	矢巾	8	506,000	290,000	376,375	288	22,125
	盛岡	8	604,000	295,000	453,500	284	-23,167
	JA計	27	604,000	238,000	401,481	285	-11,425
	市場計	104	616,000	130,000	439,817	286	47,965
地区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去勢	紫波	18	656,000	269,000	397,333	304	-116,020
	矢巾	11	646,000	278,000	411,273	318	-119,727
	盛岡	10	752,000	367,000	484,600	316	-141,257
	JA計	39	752,000	269,000	423,641	311	-119,492
	市場計	163	807,000	209,000	469,190	310	-70,892

グリーンセンター・グリーン店舗 休業のお知らせ

棚卸のため、下記の日程の通り休業とさせていただきます。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

休業日

令和6年2月29日（木）終日

対象

全資材店舗
（グリーンセンター・グリーン・受注センター）

購買者で賑わうセリ会場

あいさつする浅沼組合長

初セリに先立って行われた初市式

一年の活発な取引願って 和牛子牛市場初セリ

雫石町のJA全農いわて中央家畜市場では1月19日、和牛子牛市場の初セリが行われました。

JAいわて中央の初市式には管内の生産者やJA役職員、市町の関係者ら約40人が参加。浅沼清一組合長は「『辰年』の今年一年、子牛市場が活気づき、良い年になるよう祈念申し上げる」とあいさつ。JA畜産部会の佐藤昌司部会長は「牛肉の消費が伸び、枝肉価格並びに子牛価格が上昇することを願いたい」と話しました。同日の初セリには全体で267頭、JA管内から66頭が出場し、最高価格は雌で604,000円、去勢で752,000円。また、平均価格は雌で401,481円、去勢で423,641円となりました。

令和5年産 米検査買入状況並びに等級比率（最終）

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	135,133	12,644	937		148,714	151,112
	90.9	8.5	0.6			98.4
矢巾	134,000	4,382	208		138,590	140,059
	96.7	3.2	0.2			99.0
都南	103,172	3,958	1		107,131	105,511
	96.3	3.7	0.0			101.5
盛岡	82,732	31	15		82,778	85,422
	99.9	0.0	0.0			96.9
JA計	455,037	21,015	1,161		477,213	482,104
	95.4	3.1	0.2			99.0

地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	117,666	33,697	20,039	4,799	176,201	178,892
	66.8	19.1	11.4	2.7		98.5
矢巾	21,948	5,987	2,125	192	30,252	31,143
	72.6	19.8	7.0	0.6		97.1
都南	143	15	43		201	80
	71.1	7.5	21.4			251.3
盛岡					0	360
						0.0
JA計	139,757	39,699	22,207	4,991	206,654	210,475
	67.6	19.2	10.7	2.4		98.2

（上:30kg／個　下:比率%）

令和6年度
岩手県立盛岡農業高等学校

特別専攻科 二次募集のお知らせ

高校卒業後の農業後継者や新規就農者及び就農を志す方々を支援する社会人教育の2年制の学科です。特に畜産専攻生は、家畜人工授精師、受精卵移植師の資格取得が可能です。

入試日程

願書受付　令和6年 2月19日（月）～3月4日（月）
※入学条件は高等学校卒業または卒業見込みの方です。

試験日　令和6年 3月11日（月）

試験内容　面接・作文

募集定員　18名

入試に関するお問い合わせ
岩手県立盛岡農業高等学校特別専攻科
☎019-688-4211

地元で味わう！

Delicious Iwate いわて

盛岡市・上厨川　Vol.11

南部マルシェぞっこん広場 **レストラン旬菜**

地元食材たっぷりの本格ちゃんぽん

盛岡ＩＣからほど近い場所に店を構える「南部マルシェぞっこん広場」は、種類豊富な野菜や、地元食材をふんだんに使用したお弁当などが自慢の産直。店舗に併設している「レストラン旬菜」では、産直に並ぶ米や野菜、肉や魚介類などの県産食材を中心に使用したランチメニューが味わえます。

同店一番人気の「産直野菜たっぷりちゃんぽん」は、三陸産のイカの風味と炒めた野菜の香ばしさ感じるマイルドなスープが、もちもちの太麺と相性抜群な一品。使用する食材は旬にもこだわり、冬期は甘みの強い「雪下キャベツ」、夏期は生きくらげを使用するなど、季節ごとの味わいも楽しめます。また、同店ではその他、名物の「トマトカレー」をはじめ、県産若鶏を使用したチキン南蛮や花巻産ブランドポーク「早池峰三元豚」の生姜焼きといった、豊富な定食メニューなども大人気です。

料理長の大畑寛さんは「できるだけ地元のものを使用し、素材を活かした提供を大事にしています。当店はお買い物やお食事、ポニーとのふれあいなど皆さんに楽しんでいただける施設になっていますので、ぜひ一度足を運んでいただきたいです」と話しています。

南部マルシェぞっこん広場
レストラン旬菜

〒020-0143 盛岡市上厨川野子107
☎ 019-613-7805
営業時間　11:00～14:00
※産直は9:00～17:30
定 休 日　12月31日～1月4日

おすすめメニュー

産直では、買い物帰りやレストランでの食後にぴったりなテイクアウトメニューも豊富。桜木農園のイチゴを使った「けずりいちごソフト」やカラメルのような焼きリンゴがアクセントの「盛岡焼きりんごソフト」などが人気です。

サン・フレッシュ都南さ

おでってくなんせ！

寒干し大根は
すき焼きや
ホルモン鍋などの
鍋料理にも
おすすめです

小枝店長

今月は

寒干し大根

店頭には冬の味覚の一つである寒干し大根が並んでいます。収穫した大根を茹でて干し、夜に凍った大根が日中に溶けて水分が抜ける工程を繰り返すことで完成する寒干し大根は、気温が氷点下になる日が続く地域ならではの栄養たっぷりな保存食。今年は暖冬により出荷量はやや少なめではありますが、生産者さんの丁寧な作業で作り上げた寒干し大根をぜひご賞味ください。

サン・フレッシュ都南

住　所　〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡21-180

TEL　019-637-6801

営業時間　9:00～18:00

𝕏

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

※2月29日(木)は決算棚卸のため臨時休業とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

まちのスマイル

Vol. 27

盛岡市・手代森

坂本 淳さん ・ 由美子さんのお宅

右 坂本 朔（さかもと さく）くん(4)　左 昊（そら）くん(2)

ウルトラマンやYouTubeのキャラクターにハマっているという朔くんは、外出先では弟の昊くんの手をつないで歩いたりと、弟思いなお兄ちゃん。「大きくなったら悪い人をやっつけたい！」と憧れのキャラクターを真似しながら元気いっぱいに話す昊くんは、いつもニコニコ笑顔で皆を癒す、坂本家のムードメーカです。

お母さんは普段の2人について「朔は正義感が強くて優しい子。昊はそんなお兄ちゃんの背中を追って、まっすぐに成長しています」と話し、「兄弟仲良く、このまま元気に育ってほしいです」と優しく見守っています。

CROSSWORD

クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法 郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ	卒業	応募締切 2月27日 必着

送り先 〒028-3453 紫波町土舘字沖田98-20
JAいわて中央
「ＪＡんぷ2月号お楽しみクイズ」係

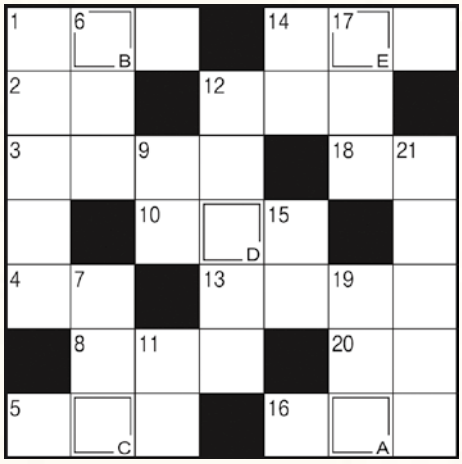
ホームページ 広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

＼コチラから／

※ご記入いただいた個人情報は、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

1月号の答え
「ハツヒノデ」



➡ ヨコのカギ

① 最低気温が0度より低い日
② 現代人は電子――に囲まれて暮らしています
③ 水筒に入れます
④ ヒヒ―ン！といななく動物
⑤ スマホに入れたり消したりします
⑧ ベッドが2つある部屋
⑩ 頬のこと。――ダンス
⑫ スラロームやモーグルなどの種目があります
⑬ 人がいっぱいに入っている状態
⑭ 西アジアの国の1つ。首都はアンカラ
⑯ 空気が乾燥しているので――器をつけた
⑱ 節分の豆を――の数だけ食べた
⑳ 実がなるまでの期間が短めの品種のこと

⬇ タテのカギ

① フキの花茎のこと
⑥ 銀世界を眺めて楽しみます
⑦ ガイド――を片手に観光地を巡った
⑨ 安倍川にして食べようかな、磯辺巻きもいいな
⑪ 日没のことを日の――ともいいます
⑫ 雪だるまを英語（片仮名語）でいうと
⑭ 佐渡島にはこの鳥の保護施設があります
⑮ 漢字には音読みと――読みがあります
⑰ 平方根を表す記号
⑲ 魚偏に「弱」と書きます
㉑ 中国や台湾の旧暦の正月

皆様からのお便りをご紹介します！

テーマ 記念日の思い出

私たち夫婦の結婚記念日は、1月22日です。睦まじく続くよう記念日はお互い忘れぬよう言った私本人がすっかり忘れていて、サプライズした主人をガッカリさせた年がありました。今では笑い話になります。（稲藤・S／59歳）

お二人の仲良しぶりが伺えますね。毎年たくさんの思い出ができますように！

71年も生きていると色々と思い出はあるけれど、やっぱり一番の記念日は東京から岩手・紫波に越して来た日かな。もう35年になりますが、その日は毎年一人で思い出にふけりながらお茶してます。（北日詰・H／71歳）

住んでいると当たり前に感じがちですが、今ある全てのご縁に感謝したいものですね ☺

令和5年12月21日は初ひ孫の誕生日。そして私はひい爺ちゃんになった記念日です。老の証ありがとう。（桜町・S／85歳）

ひ孫さんのご誕生、おめでとうございます！皆さんにとって大切な記念日になりましたね。

昨年末の11月は金婚式。2人の子どもたちにホテルでお祝いをしてもらい、記念品に旅行カタログ、この1月に静岡方面に出かける事にしています。また、どさくさに紛れ10年前に買ったしつけのついた着物を出し、遺影も兼ね夫婦の記念写真も撮りました。（中島・T／75歳）

この度は金婚式おめでとうございました！旅行に写真撮影、素敵な記念日になりましたね。

理事会報告

1月定例理事会が1月30日、紫波支所で開かれ次の議案について決議されました。

【議決事項】

1 利益相反取引の承認（金融）
2 利益相反取引の承認（営農①）
3 利益相反取引の承認（営農②）
4 令和6年度余裕金運用方針
5 不祥事再発防止策の取組状況（令和5年12月）
6 令和5年度気象被害に対する組合員助成事業の制定
7 機構改革について

役員手帳

地域の活性化につなげる多種多様な農業の実現を

営農販売・生活推進専門委員長
鷹觜 忠一 理事

日頃よりJA事業推進へのご協力大変ありがとうございます。

この度、能登半島地震により被災された皆様にお悔み、お見舞いを申し上げます。また、被災地への救援活動に携わっております全ての方々へ深く敬意を表しますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は、春の凍霜害や7月から9月にかけての記録的な猛暑による農産物の収量の減少、品質の低下のほか、燃油・包装資材等の高騰など、農家組合員の皆さまの農業経営に大きな影響を及ぼしました。

営農販売・生活推進専門委員会では、農家組合員の次年度対策について検討・協議を重ねてまいりましたところ、この度理事会において、令和6年度への生産意欲を高めることを目的とした助成金の支払いによる支援を行うことを決定いたしました。つきましては、多種多様な農産物が生産されている当JAの特性を活かし、令和6年も多くの農産物が生産され、地域の活性化につながるよう、取り組んでまいります。

INFORMATION

無料開放で好評実施中！健康たいかん館

血行改善に効果のある最新型の交流磁気治療器で、肩・腰・足など日頃の疲れをじんわり心地よく癒します。どなたでも体感していただけるよう無料開放していますので、ぜひご家族やご友人とご来場ください。

場所 Aコープふれあい純情市場さっこら 店内特設会場（盛岡市仙北2-5-4）

受付 一部 9:00～12:30
二部 14:00～16:30

休館日 土・日・祝日

詳細はこちら

1月24日オープン

お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7468

岩手の農業を一緒に盛り上げよう！

JAいわてグループ合同職場説明会のお知らせ

JAグループでは、令和7年4月採用を希望する方を対象とした説明会を下記の通り開催します。

参加JA JA新いわて　JAいわて中央　JAいわて花巻　JA岩手ふるさと　JA江刺　JAいわて平泉

第1回

日時 令和6年3月2日(土)
13:00～14:30（受付12:30～）

場所 いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階会議室
（盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1）

申込期限 令和6年2月28日(水)

第2回

日時 令和6年3月9日(土)
13:00～14:30(受付12:30～)

場所 一関市文化センター 3階研修室
（一関市大手町2-16）

申込期限 令和6年3月6日(水)

詳しくはこちら

参加のお申し込み

下記URLまたはQRコードから申込フォームにアクセスいただき、必要事項を入力の上、お申し込みをお願いいたします。

URL https://forms.gle/3VNPUA1g1WCW53q48

お問い合わせ JA岩手県中央会 JA支援部 ☎626-8529

ほっぷすてっぷJAんぷ
Vol.300 令和6年2月1日発行
ホームページ https://www.ja-iwatechuoh.or.jp/

新鮮食材で
楽しくクッキング
— This month's recipe —
今月のレシピ
153杯目

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。
JAいわてグループ

カキのみそ焼き

材料（2人分）

カキむき身	200g
だし昆布	1枚(5×10㎝ほど)
田舎みそ	大さじ2
みりん	大さじ1
小口ネギ	適宜
七味唐辛子	適宜
日本酒	200ml+適宜
塩	小さじ1/2
しょうゆ	小さじ1/2
ショウガスライス(皮付き)	2枚

作り方

1. カキはよく水洗いし汚れを落とし、水気を切っておく
2. 小鍋に日本酒を沸かしアルコールを飛ばし、ショウガ、塩、しょうゆ、カキを入れ、強火で2分ほど煎り煮する
3. だし昆布に日本酒を振りかけ、ふやかしてから布巾でよく拭いておく
4. ボウルに田舎みそ、みりんを入れ混ぜ合わせ、③のだし昆布に塗る
5. みそを塗った昆布に酒で煎ったカキを並べ、アルミホイルに上にのせ、オーブントースターで6分ほど焼き、みそを軽く焦がす
6. 焼き上がったら器に盛り付け、小口ネギと七味唐辛子をかけ出来上がり

編集後記

渡邊

おかげさまで「ほっぷすてっぷJAんぷ」はこのほど創刊300号を迎えました。広報誌名の由来でもある「夢に向かい、一歩ずつJAんぷしてほしい」という思いを大切に、皆さんの夢や目標、日々の頑張りを後押しできるような話題をこれからもお届けしてまいります。今後もご愛読のほど、よろしくお願いします！

小野寺

本誌は今月で300号の節目を迎えました。創刊から25年、日頃のご愛読や取材へのご協力に対し心より感謝を申し上げます。そして、2月号は私が編集に携わり80冊目の「ほっぷすてっぷJAんぷ」でした。たくさんの出会いからいただいた経験を糧にして、これからも皆さんに愛される広報誌をお届けしていきたいと思います！

発行／岩手中央農業協同組合　〒028-3453 岩手県紫波郡紫波町土舘字沖田98-20
編集／企画管理部企画課 ☎(019)673-7480　印刷／川嶋印刷株式会社

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C103798
この冊子は地球にやさしいベジタブルオイルインキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK

最新の情報はSNSやHPをご覧ください
@ja_iwatechuoh　@ja.iwatechuoh　@ja_iwatechuoh